

動画配信PaaSの利用で 1週間の公開作業負荷が半日に大幅減

東京ガス株式会社様の場合
<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

Brightcove

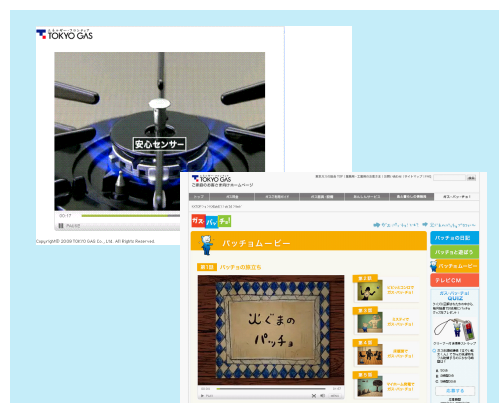
東京ガス様のサイトでは、動画視聴者のサイト滞在時間が全体平均と比較し2倍以上の数値となっています。またCM名を検索してアクセスしてくるユーザーも多く、リピート率が50%を超える動画コーナーもあり、自社サイトのキラーコンテンツとして、動画を積極活用しています。しかし一方で、動画コンテンツの管理・運営の煩雑さが課題となっていました。そこで同社では、動画の公開作業や、プレイヤーの作成などを一括管理で行える動画配信プラットフォームASP (PaaS=Platform as a Service)「Brightcove」を導入。動画公開まで1週間かかっていた作業工程をわずか半日に大きく短縮することに成功しました。

導入前の課題

- 限られた人的リソースで効率的な動画運用をしたい。
- 手作業による公開作業でのヒューマンエラーをなくしたい。
- 動画コンテンツをユーザーにとってより見やすいものにしたい。

導入後の成果

- 動画公開に必要な作業が1週間から半日に削減できた。
- 管理画面上での仕様の一元管理で、制作に伴う連絡・確認ミスがなくなった。
- 普及率の高いFlash Video配信でリーチを確実にしたほか、帯域判別や全画面表示も標準機能で利用でき、ユーザービリティが向上した。



東京ガスで公開中の動画コンテンツ

- 充実の標準機能のほか、カスタマイズの際にも作業負荷を大幅軽減



Brightcoveでは、標準機能を使って自社ブランドにあわせたオリジナルの再生プレイヤーを簡単に作成できるほか、カスタマイズもイチから作成するよりもはるかに簡単に行うことができる。パッチョムービー用にカスタマイズしたプレイヤーは、ユーザーが視聴している回により、画面右側の関連動画の表示が自動的に切り替わる(赤枠内)。同社では、このようなプレイヤー制作には通常1ヶ月程度要していたが、Brightcoveの機能をカスタマイズすることで、2日程度で作成が実現したという

成功のポイント

使いやすい管理画面インターフェースで、動画配信の作業スピードが向上

→「Brightcove」では、動画コンテンツの管理からFlash Videoへの自動変換、再生プレイヤーの作成など動画配信に必要な機能をそろえており、Webに関する詳しい知識がなくとも簡単に操作可能。複数のファイルや管理画面を行き来する必要なく、一人の担当者でも公開作業が可能のため、作業負荷を大幅に削減可能となった。

配信仕様の一元化で、担当者間での連絡・確認ミスを最小限に抑えられた

→フォーマットや帯域、画格などのコンテンツ仕様は管理画面上での作業のため、担当者間による連絡ミスや仕様の確認ミスなどを発生リスクをおさえ、作業効率をアップさせることができた。

ビジネスでの動画配信に最適な機能が標準仕様で利用できる

→広く普及しているFlash Video方式で配信のほか、帯域や画格の自動判別や全画面表示などが標準機能として利用できるため、エンドユーザーに最適な配信環境をスムーズに提供できた。関連動画の表示機能やバイラル機能などもある。